

ことうら議会だより

2025年8月1日発行 第85号



とびうお 目指せことうらの飛魚

待ちに待ったプール開き
水遊びを楽しむこどもたち

トピックス

- ・ 特集..... P 2～5
マイカーが無い暮らしは大丈夫か
- ・ 臨時会、定例会..... P 6～9
- ・ 委員会報告..... P 10～11
- ・ 一般質問..... P 12～19

町の魚「アゴ（飛魚）」
町の花「サクラ」
町の木「ブナ」
町の鳥「カワセミ」



特集

マイカーが 無い暮らしは 「上郷・倉坂たすけ

免許返納などでマイカーでの移動手段が無くなった場合、皆さんはどうされますか。現在、琴浦町での移動手段は公共交通機関と呼ばれる鉄道（JR）・バス・タクシー公共交通機関とは不特定多数の人々が、所定の運賃を支払えば自由に利用することへ自治体が赤字補填する広域路線（倉吉赤碕線）と町が運行管理する町営バス6路線しかし、町営バス6路線のうち上中村線と福永線は朝と晩の一本ずつで、日中の運

あい交通」がそれぞれ運行されています。

実証実験を経て、今年4月から運行を始めた「上郷・倉坂たすけあい交通」を取材

赤字バス路線の縮小

赤字が続く町営バス6路線のうち、上中村線と福永線は朝と晩の一本に縮小され日中の運行が無くなり、移動手段のない独居や昼間家族が不在の世帯にとっては、とても不便な暮らしです。

これに代わる交通システムとして、令和3年9月より安田地域づくり協議会は「助け合い交通ことうら」の運行を開始し現在に至っています。

令和3年 運行：159回 乗車人数：164人

令和6年 運行：373回 乗車人数：383人

同様に古布庄地区や以西地区でも導入に向けて実証実験が行われましたが、バス路線の利用が可能なため効果は少なく、導入されませんでした。

上郷・倉坂たすけあい交通が本格運行

上郷、倉坂地区でも令和7年のバス日中運行廃止を踏まえ、住民ボランティア7名で「上郷・倉坂たすけあい交通の会（会長：朝倉武寿）」を設立して各部落への説明会やアンケート実施、令和6年8月～9月の実証実験を経て令和7年4月より「上郷・倉坂たすけあい交通」の本格運行（利用登録者は60名、ドライバー10名体制）を開始しました。



会長 朝倉 武寿さん

当地区において交通に不便を感じている方、移動手段をお持ちでない高齢者の皆さんを支援していくには、この事業を継続していくことが一番だと考えます。そのためには、地区住民の皆様によく利用して頂くことが一番だと考えています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

大丈夫か

「あい交通」への期待



に頼ることになります。

ができる交通機関と定義され、本町では鉄道とタクシーは民営、バス事業は運行会社があります。

行が無いため地区住民による共助交通「助け合い交通ことうら」「上郷・倉坂たすけ

し、本町の地域交通対策について考えます。

〈たすけあい交通の目的は地域課題の解決〉

- ・ 移動手段を持たない高齢者等の通院や買い物
- ・ 学生の長期休暇やテスト期間中の移動確保

〈波及効果〉

- ・ 世帯の見守りや安否確認
地元で顔見知りの利用者なので、送迎時に関わらず見守りが可能
- ・ 地域の見守りパトロール
送迎運転することで地域の見守りや安全パトロールに貢献



送迎から帰って来たドライバーの米田富美子さん

自分も年をとったら世話になると思う。そうなるまで、元気な自分たちが出来ることを頑張る。

たすけあい交通の可能性

人口減少により町営バスの運行環境は今後ますます厳しくなります。

地域住民による「助け合い交通」はバス路線の減少対策として有効手段なのか。

持続可能な運行体制や経営支援について議会は注視していかなくてはなりません。



1 町内の交通手段

◇タクシー

運行時間 6時30分から20時

◇バス

広域路線 倉吉～国道9号線～赤碓駅（運行回数13往復）

町営バス 6路線（琴浦海岸線、船上線、上中村線、野井倉線、上法万線、福永線）

◇交通空白地有償運送

○助け合い交通ことうら（安田）

○上郷・倉坂たすけあい交通

2 町の地域交通施策（事業）

◇交通空白地タクシー助成事業 予算 531千円

公共交通空白地（バス停留所から400m離れている地域）に住んでいて自家用車を運転できない理由があり移動手段に困っている独居または高齢（65歳以上）の方に対して、タクシー運賃の1/2を助成（利用券は月6枚交付）。

◇広域路線バス運行事業 予算 11,204千円

日ノ丸自動車が行う広域路線（倉吉赤碓線）の赤字分について、琴浦町内を運行する部分について赤字補填として補助金を交付。

◇町営バス運行管理 予算 98,313千円

運行事業者に6路線の運行管理を委託。

◆交通空白地有償運送事業

○助け合い交通ことうら（安田） 予算 1,000千円

運行 月・水・金 9時～16時

1乗車 300円

○上郷・倉坂たすけあい交通 予算 1,200千円

運行 月・水・金 9時～16時

1乗車 500円（高校生以下300円）

回数乗車券 2,500円（6枚）

交通対策の現状は

3 町の財政負担額（令和7年度予算より）

◇交通空白地タクシー助成事業

町予算 531千円

◇広域路線バス運行事業

町負担 11,204千円

◇町営バス運行管理

町負担 61,835千円

県負担 31,322千円

その他 5,156千円

◇交通空白地有償運送事業

町負担 1,320千円

県負担 880千円



「助け合い交通ことうら（安田）」の車輛

4 町営バス運行の赤字

◇令和2年に運行方式を変更して、大幅に赤字が増大

	(種類)	(利用者数)	(運行費用)	(運行収入)	(赤字額)
H30	バス	71,500人	46,441,907円	6,676,226円	39,765,681円
	デマンド	2,047人	3,340,740円	208,900円	3,131,840円
R2	バス	57,796人	88,998,333円	6,154,524円	82,843,809円
R6	バス	43,870人	91,433,025円	5,156,489円	86,276,536円

5 町財政と国の支援措置は健全経営といえるか

地域の交通対策について、国は町の負担額に対して「特別交付税」という措置により町負担した額の約8割を交付します。

令和6年の町営バスの運行実績は、利用者4万4千人、運行費用9,100万円、収入500万円で、約8,600万円の赤字です。

特別交付税措置により、理論上は1,720万円の負担で済むと町は説明していますが、これが健全経営なのか疑問です。

利用促進に向けた町職員のバス利用など、行政の積極的な取り組みも必要ではないでしょうか。

5月
臨時会

6月
定例会

サッカー場人工芝

5月22日の臨時会では、一般会計補正予算、学習用タブレットや消防
6月3日招集の定例会では、条例の一部改正4件のほか、債務負担行
工場建設)に19億9,900万円を追加。

東伯総合公園サッカー場改修工事と立石台道路改良工事の契約締結を
成美地区公民館の備品等の財産の取得について可決した。

5月臨時会（5月22日）

議案第54号 令和7年度琴浦町一般会計補正予算（第1号）

全会一致で可決

- ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業（移動遊具などの備品購入費）他

補正額 2,604万円

議案第55号～59号 財産の取得について

全会一致で可決

- | | | |
|----------------|---------|--|
| ○学習タブレット端末 | 6,865万円 | 第2期GIGAスクール構想により小中学校の全生徒が使用するタブレット端末を更新する。 |
| ○消防自動車 | 3,179万円 | 琴浦町消防団第2分団の消防ポンプは20年以上経過し老朽化が進んでいるため更新する。 |
| ○避難所用備品 | 787万円 | 避難所の環境改善を図るため災害発生時に避難場で使用するパーティションを購入する。 |
| ○避難所用備品 | 785万円 | 避難所の環境改善を図るため災害発生時に避難所で使用する折り畳みベッドを購入する。 |
| ○プラスチック資源回収指定袋 | 841万円 | プラスチック分別回収を円滑に行うため、琴浦町が指定する回収袋を購入する。 |

敷設契約など可決

ポンプ車の更新などの財産の取得について審議し可決した。
為では地域総合整備資金貸付事業（令和8年度に大山乳業アイスクリーム
可決、町営バスと学校給食センター食器等、また、新ふなのえこども園・

6月定例会（6月3日～6月13日）

議案第64号 令和7年度琴浦町一般会計補正予算（第2号）

全会一致で原案可決

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| ○主な事業 | 町道等改良整備事業 | 1,500万円 |
| ○主な債務負担行為 | 地域総合整備資金貸付事業 | 19億9,900万円 |
- 令和8年度に大山乳業の設備投資を支援する。

議案第68号 建設工事請負契約の締結について

[東伯総合公園サッカー場改修工事]

賛成多数で原案可決

討論

反対

押本 議員

請負契約に異議はないが、工事契約内容について、次のとおり懸念材料が払しょくされていなかったので反対を表明する。

- ①排水量の件で実際に10分間降雨20mmがあるのに同15mmで大丈夫か疑問。
- ②執行部には人工芝の欠点をほぼクリアした人工芝を提案したが回答なし。
- ③人工芝の地下はコンクリートのため高温それを防ぐ土舗装を提案も回答なし。
- ④人工芝化より排水量が増える事を始めて表記。が従来の不変を訂正せず。
- ⑤対環境、対降雨量想定、工費、過疎債という財源等に対する無責任さ。

賛成

11

反対

3

令和7年陳情第4号 国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農家支援を求める陳情

賛成少数により不採択

討 論

賛 成

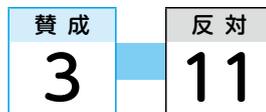
川本 議員

消費者と米農家の対立を解決するためにも農家への所得補償、価格補償が必要だと考えるので、採択。

反 対

桑本賢 議員

陳情の全体を見渡すと採択するのは不適切と考えるため不採択。



令和7年陳情第5号 裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情

賛成少数により不採択

討 論

賛 成

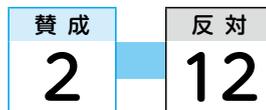
川本 議員

政党助成金制定時の趣旨に立ち返って企業団体献金の禁止を求める本陳情を採択することに賛成する。

反 対

桑本賢 議員

国会でも大きな問題になっており、自治体で扱うのは難しく採択するには無理があるため採択に反対する。



請 願 ・ 陳 情

番号	件 名	提 出 者	付託委員会	委員会 の意見	本会議 採決結果
7年 請願 第2号	地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦敏樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 浜川明	総務産業	採択	採択
7年 陳情 第4号	国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀敏之	総務産業	不採択	不採択
7年 陳情 第5号	裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会（鳥取県革新懇） 代表世話人 村上俊夫	総務産業	不採択	不採択

議案第70号・71号 財産の取得について

全会一致で原案可決

- 町営バス車両 1,025万円
- 給食センター食器、食缶洗浄システム 7,871万円



町営バス

議案第76号・77号 財産の取得について

全会一致で原案可決

- 新ふなのえこども園・成美地区公民館厨房機器 1,488万円
- 新ふなのえこども園・成美地区公民館備品 1,405万円

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果		金光敦	小椋憲浩	谷田順子	田中肇	川本善孝	山本秀正	押本昌幸	澤田豊秋	桑本賢治	小椋正和	手嶋正巳	前田智章	桑本始	井木裕	大平高志
	賛成	反対															
7年陳情第4号 国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情	不採択	3	11	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	議
7年陳情第5号 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情	不採択	2	12	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	議
議案第68号 建設工事請負契約の締結について〔東伯総合公園サッカー場改修工事〕	可決	11	3	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥



委員会

教育民生常任委員会

委員長 金光 敦

6月10日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受けた。
各課からの説明時には、「脱炭素先行地域計画事業について」や「東伯総合公園サッカー場整備について」など多くの質疑が行われた。
また、委員会終了後は赤碕文化センターの駐車場の現地視察を行った。

《報告事項・質疑応答》

脱炭素先行地域計画事業について

- Q** 農家の安定的な経営に寄与するとあるが。
- A** 太陽光パネルを設置するなどして、耕作放棄地の有効活用を進める。
- Q** 脱炭素先行地域計画事業を進めるため、一般社団法人をつくり職員を派遣するとあるが、派遣された方の給与や退職の扱いはどうなるのか。
- A** 通常の役場職員と同じ扱いになる。不具合が出ないように取り組んでいく。

東伯総合公園サッカー場整備について

- Q** 集中豪雨などによって、近年、非常に多くの降水が懸念されるが、側溝の設計はどうなっているか。
- A** スポーツ施設としての設計基準に準じて設計を行っている。
- Q** 真夏日が増加しているなかでの、人工芝サッカー場の運用は。
- A** 町によって、活動の指針目安は出ている。サッカー場の運用についての整理は今後進めていく。

こども園のあり方について

- Q** 子どもの出生数が激減している。こども園のあり方について早急に計画が必要ではないか。
- A** 毎年、子ども子育て会議を開催している。減少傾向にある子どもの数などの情報を、委員の方と共有して進めていきたい。



赤碕文化センター駐車場

委員長の感想

6月の教育民生常任委員会では、赤碕文化センター駐車場の視察を行いました。長雨の際には、広範囲に水たまりができる駐車場の状況について説明を受けました。当日は小雨が降っており、水が溜まりやすい状況を直に確認するとともに、今後の対応について検討しました。過ごしやすい環境が整うよう努めて参ります。

の 報 告



総務産業常任委員会

委員長 小椋 憲浩

6月11日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。また委員会に付託された7年請願第2号「地方財政の充実・強化を求める請願」を審査し採択。7年陳情第4号「国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農家支援強化を求める陳情」について審査し不採択。7年陳情第5号「裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情」について審査し不採択とした。

委員会終了後は琴浦町商工会議所5名との意見交換会を行った。また建設途中のふなのえこども園、成美地区公民館の現場視察も行い進捗状況の確認を行った。

《報告・協議の質疑応答》

カウベルホール

- Q** カウベルホールの愛称が発表されたが、行政上として施設管理の範囲内か。
- A** 現在のカウベルホールは普通財産の貸付という状態で、名称ではなく愛称の募集として整理してきた。
- Q** カウベルホール使用について、事故発生時の補償はどこが行うのか。
- A** 事故の状況にもよるが、財団に対しての指摘事項なども含めても、最終的には町の方に責任があると考えている。
- Q** カウベルホールの使用料は。
- A** 無料の予定だが検討が必要。

まちづくり

- Q** ワイナリー建設に関するふるさと融資の連帯保証人は金融機関となっているが、本町の損失補償など影響はないのか。
- A** 必要書類には、債権保全のため損失補償を要求することは無いと記されている。
- Q** 浦安駅と赤碓駅の跨線橋の夜間の照明時間が異なっている理由は。
- A** 照明設定に種類があり異なっていた。浦安駅は修繕が終了後、朝方まで照明するように設定する。
- Q** 水道管の老朽化による陥没事故防止策は。
- A** 計画的に交換して事故が無いよう進める。



意見交換会



こども園視察

委員長の感想

6月の総務産業常任委員会では、琴浦町商工会との意見交換会を行い、商品券の効果や地域通貨への取組、生活困窮者への配慮施設設置や農林水産業者との連携。そしてライドシェアの取組や移住定住に関する事など活発な意見交換会が開催できました。頂いた多くの声を受け止め魅力ある地域づくりを目指して邁進したいと思います。

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ	録画映像 QRコード
6月5日	通告1番 おぐら のりひろ 小椋 憲浩	1. 公共施設解体の自治体財政負担軽減策の対応について 2. 公共施設におけるモバイルバッテリーに関する使用マニュアル作成の必要性について 3. 農業振興施策について	13	
	通告2番 かわもと よしたか 川本 善孝	1. 農地法第3の改正に対する対応について 2. 本町の交通体系について	14	
	通告3番 たにだ じゅんこ 谷田 順子	1. 不法投棄への対応について 2. 高齢者の介護予防について	15	
	通告4番 おしもと まさゆき 押本 昌幸	1. 町は「ゼロ・カーボン宣言」をした。人工芝を選択させたのは、「ミスリード」になるのではないか 2. 「今後の中期財政見通し（2025年3月）」からの質問 3. 出生数の急激な減少にどう対処するのか	16	
	通告5番 おぐら まさかず 小椋 正和	1. 独居高齢者対策について 2. 小学校、こども園の今後について	17	
6月6日	通告6番 たなか はじめ 田中 肇	1. 浦安駅と赤碓駅に隣接する跨線橋の安全対策について 2. ふるさと納税の増収について 3. 一般質問答弁後の対応について 4. 東伯総合公園サッカー場の整備について	18	
	通告7番 くわもと はじめ 桑本 始	1. 町長の政治姿勢について 2. 小1の壁について	19	

※青字は、本誌では省略



事項一覧



通告書

一般質問の録画映像をYouTubeでご覧いただけるようになりました。



モバイルバッテリー等に関する使用 マニュアル作成の必要性について



使用されている商品が幅広い分野
であり、作成は困難だと思ってい
る
福本町長



小椋 憲浩 議員

質疑応答時間 (12回 (質問) 22分 + (答弁) 18分) (トータル) 40分



「公共施設適正管理推進事業」に ついての取組や財源の考え方は

問 公共施設適正管理推進事業は、廃校や公共施設の解体などに国が半額交付措置するとあるがその実態と、残りの半額の財源の見通しは。

答 これまでは公共施設解体には交付率の高い合併特例債を活用してきた。ご指摘の事業は令和8年度まで利用できるもので、どの施設を解体するのか残りの財源も含め慎重に考えなければいけない。

行財政改革推進委員会の活用は

行財政改革推進委員会は開催されているか。出された意見は有効に活用されているか。

答 行財政改革推進委員会では、いろいろなアクションプランをチェック頂いている。起債による財政不安についても中期見通しを立てて事業展開を行っている。

公共施設におけるモバイルバッテリーに 関する使用マニュアルの作成の必要性は

問 全国各地で蓄電池による火災報告がある中で、庁舎内で使用する蓄電池の多様性と管理など「防災の観点」から使用マニュアル作成の必要性は高いと考えるが。

答 蓄電池は様々な商品に利用されており、機種ごとや構造とかで作成するのは困難だと思っている。

問 本町は脱炭素社会の構築を提案され、今後とも蓄電池製品の使用頻度は高まると予想される。火災防止や発生後の行動マニュアルは必要ではないか。

答 事前に商品の説明書をよく読むとか、それをきちっと守る事などを職員に周知させたいと考えている。

農業振興施策について

問 本町のカメムシ・ジャンボタニシの実態と今後の発生防止および発生後の対策は。

答 カメムシには有効な対策は難しいとみているが通常の防除体制で防げている。ジャンボタニシは今のところ発生はない。

問 台風や豪雪、病害虫などの発生予想は広報や報道で知ることが出来ても、高齢化等により予防に向けた行動に移せない実態があるのではないか。何か人的支援策はできないか。

答 行政が個々農家や農園に対してそこまでテコ入れすることはできないと思っているが、地域や仲間などで高齢の方に対する行動については協力していきたい。



カメムシ



川本 善孝 議員



本町の農地集約化は限界ではないか



これ以上面積拡大は望めないのではと思う
福田農業委員長

質疑応答時間 (10回 (質問) 24分 + (答弁) 23分) (トータル) 47分



農地法第3条の農地取得の下限面積廃止

問 2023年4月より、農地取得の下限面積が廃止されたが

都市近郊では新規就農が増えている。もっと強めるべきだ。

答 これから農業をめざす人にとってはありがたいこと
福本町長

しかし、現実的にはこの改正のみで新規参加が増加することは考えにくい。地域計画を立てているので、個々の計画と併せてその実現に資するような制度の活用を期待したい。

問 農地の集約化は農業人口を減らすことになるのでは

農家を減らした理由に、①低米価が農家を減らした、②担い手への集積が農家を減らしたと紹介している雑誌もあるが。

答 本県では集積は難しいと思っている
福本町長

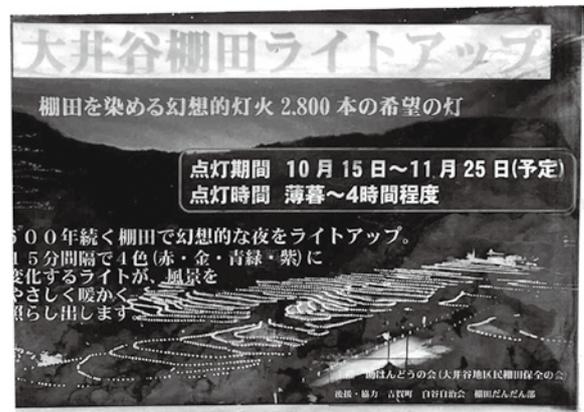
本県は二種兼業農家が多く、面積的にも集約は難しい。

問 本町で、農地の集約化はもう限界ではないか

米農家は「忙しい時期が重なるので、もう無理だ」、酪農家は「牧草地の隣りなら受けるが、それ以外は断っている」という話を聞いたが。

答 面積をこれ以上拡大ということはそんな多くは望めないと思っている
福田農業委員長

「もう農業しないから買ってくれ」という話が最近増えている。



オーナー制度で棚田を維持している島根県吉賀町大井地区の棚田 (ポスター)

共助交通の料金

問 バス、共助交通の料金体系が違うのは

ことうらバス100円、共助交通の安田地区は300円、上郷・倉坂地区は500円。今後ますます共助交通は増えてくると思うが。

答 地域で決めていただいている。町がどうこう言うところではない
福本町長

タクシー料金の半額程度を基本に、琴浦町地域公共交通会議に持ち寄って、最終的な話し合いの下に決まっている。

問 夜の飲食店からは、タクシーの夜9時までの運行を求める声があるが

他町に比べ夜の飲食店が多いのが特徴。飲食業者との意見を聞く会なども必要だ。

答 経営の面では運転手確保など難しいようだ
福本町長



1 継続した環境教育を検討しないか
2 高齢者のマイクロバス利用に制限はあるのか



1 依頼があれば教育を行っている
2 子どもの事業を優先している

福本町長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (19回 (質問) 30分 + (答弁) 24分) (トータル) 54分



ポイ捨て防止の取り組みは

問 不法投棄されたごみの回収は誰がするの

ごみのポイ捨ては社会規範の問題であると言われており、一か所にゴミが出ると次々にいろんなゴミが集まってくるので、ごみを発見したら早く撤去することが大切になる。

しかし、他人が勝手に捨てていった物を土地の所有者という理由だけで片付けなければならないというのはどういうものかと思うが。



不法投棄された自転車

答 土地の所有者にお願いしている

ごみのごみと呼ぶということは確かにあるが、行政が全部片づけるわけにはいかない。

問 継続した環境教育と、ゴミ拾いイベント等を実施しないか

「琴浦町きれいな町づくり条例」が平成21年9月に制定されている。

ごみが環境や社会に与える影響や、ポイ捨てをしないことの大切さを理解するための啓発活動として、継続した環境教育やゴミ拾いイベント等を実施されないか。

答 依頼があれば対応している

ごみ拾いイベント等に協力することも大事だと思う。環境教育は、小学校の授業として依頼され、ごみを含めた町の現状等について教育させていただいている。

介護予防の視点でマイクロバスの活用を

問 高齢者団体の利用はなぜ少ないのか

令和6年度の町マイクロバスの利用実績は、年間295件のうち、学校関係137件、こども園関係66件等行政関係の利用が285件であった。

高齢者団体はわずか2件であったが、要因として何が考えられるか。

答 民間のバスを借り上げていただきたい

所有している2台のバスは子どもたちを優先して使いたい。

高齢者クラブもある程度お金を持っておられると思うので、民間のバスを利用していただきたい。

問 申し込みができない状況があると聞くが

マイクロバス申し込み時に、教育関係を優先するので予約を取り消すこともあると言われて、予約ができなかったという声を聞くが安心して申し込みできる状況にすべきではないのか。

答 対応についての詳細は確認したい



押本 昌幸 議員

問

しゅっしょうすう
出生数の急激な減少にどう対処するの

答

- ・公共施設を管理する町として、全部ひっくるめて検討する態勢を整えている 福本町長
- ・学校は、地域のコミュニティの核として教育のほかには防災、交流の場でもある 河原教育長

質疑応答時間 (19回 (質問) 30分 + (答弁) 27分) 57分



問 ①全国でも、2024年度の出生数の減少割合が、15年前倒しだという。倉吉市でも、出生数の激減で、保育所の再編を考えると。琴浦町での出生数はどうか。

②全国での「出生数の減少の15年前倒し」は、こども園、小学校、中学校の再編も「前倒し」せざるを得ないと考えられるが、琴浦町では、当分再編はないとする従前の考えのままでよいのか。

小学校の在り方の選択は、地域の方々と一緒に決めていかなければならないと思うがどうか。

③いずれにしても、出生数の激減は事実であり、したがって、町内諸施設の再編、維持管理計画にも、早急な対応が必要であるが、財政計画はどう考えているのか。スマートシュリンク（賢い縮小）は。

答 ①平成21年度に「保育園・幼稚園あり方審議会」、令和2年に「ふなのえこども園あり方検討会」、令和5年度に「子ども子育て会議」で

情報の共有を行った。通園児数は令和6年度においても100人ほど一気に減っている。 福本町長

②想定よりも早く出生数が減少している。出生数を校区別でみると、令和14年度に、県の学級編制基準において複式学級となる小学校が出てくる見込み。子どもたちの教育条件の観点を中心に据え、今年度、その検討に向けた準備に入る。

学校は地域のコミュニティの核として、教育だけでなく、防災、交流の場など多くの機能を併せ持っている。統合ありきの検討はしない。学校教育の目標、目的のよりよい達成を検討する。あと地域住民のご意見を集めることも大事だ。 河原教育長

③公共施設を管理する町として、教育行政と建物管理、まちづくりと経済も併せ、全部ひっくるめて「材料」を集めて検討しなければならない。具体的なことは今言えないが、態勢としては整えているところだ。 福本町長

6歳までの年齢別人口（校区別）

基準日：令和7年3月31日

年齢	人数	聖郷小学校区	浦安小学校区	八橋小学校区	赤碕小学校区	船上小学校区	小学校区計
0歳	64	8	18	18	16	4	64
1歳	89	9	19	25	26	10	89
2歳	85	7	23	17	28	10	85
3歳	110	19	32	26	20	13	110
4歳	85	13	17	20	25	10	85
5歳	110	10	35	20	26	19	110
(0～5歳)全校	(543)	(66)	(144)	(126)	(141)	(66)	(543)
6歳	120	16	31	27	25	21	120
合計	663	82	175	153	166	87	663

町民生活課調べ



独居高齢者の緊急事例対応策は行政として出来ているか



救急時の対応は困難だが、見守り等の対応は出来ている 福本町長



小椋 正和 議員

質疑応答時間 (24回 (質問) 27分 + (答弁) 36分) (トータル) 63分



独居高齢者対策

問 独居高齢者は町内に何名

現在町内において65歳以上の高齢者は何名おられるのか。

答 1,339名 福本町長

令和7年5月1日現在で全世帯6,447世帯でのこの数値になっている。

問 一人一人の状況把握は

民生委員さんなり愛の輪協力員さんの見守り等により、ある程度の状況把握は出来ているのではないかと。

答 全員の状況把握は困難 福本町長

一人一人の状況把握は難しい。要介護認定を受けられる方に対しては把握している。

問 緊急時での行政の対応は

緊急時に早期に発見するための手立てとしては。

答 見守り協定を締結 福本町長

民生委員、愛の輪協力員、地域の方、企業、見守り協定を締結している方と連携して対応。

問 見回りにも限度があるのでは

どのような対応を指導されているのか。

答 見守りと行政や社協へのつなぎ 福本町長

問 緊急時の外部連絡方法対策は

緊急時に本人が外部に連絡するシステム、ベルを鳴らすなどの対応は出来ないのか。

答 電話等により緊急通報 福本町長

個々の状況によるが、電話等で緊急通報されている。

問 外部から安否の確認は

毎日の安否確認が簡単にできるシステム作り、元気印の小旗の掲示とかできないか。

答 今後検討していく 福本町長

以前にもそのような取り組みもあったと記憶しているが、今後検討していきたい。

小学校、こども園の今後

問 再編計画の動きは

令和に入って出生数が100人を切っているが、今後も少人数が続けば再編が考えられるが。

答 検討をしていない 福本町長

こども園の再編は、現時点では検討していない。しかし今後検討に向けて準備を進めていく。

答 具体的な計画はない 河原教育長

現時点で具体的な計画はないが、よりよい教育環境の確保に向けた検討のための準備を進めていきたい。



田中 肇 議員



- 1 ふるさと納税の増収について
- 2 公共施設の予約システムの改善について



- 1 「芝」を新規返礼品に登録 福本町長
- 2 土日祝日の当日利用受付を目指し研究 河原教育長

質疑応答時間 (22回 (質問) 30分 + (答弁) 34分) (トータル) 64分



浦安・赤碓駅に隣接する跨線橋の安全対策

問 浦安駅に隣接する跨線橋の24時消灯について

浦安駅に隣接する跨線橋（町道認定）は24時には消灯され、駅周辺は真っ暗で危険である。防犯また安全上、夜間の照明は必要では。

答 少し検討してみたい 福本町長

街路灯と防犯灯の違いはあるが、現実として危険な状況であれば考えないといけない。少し検討してみたい。

ふるさと納税の増収

問 納税額が減っているが、人気返礼品の開拓はあるのか

令和4年から5年にかけて、納税額が約1億円減少しているが、人気返礼品の梨・カニ・米に加え、注目する返礼品の開拓はあるか。

答 「芝」を新規返礼品に登録 福本町長

問 「芝生王国とっとり」の名前が全国に広まることを期待するが

返礼品の芝は鳥取県芝生産組合が生産しているTM9という品種。

芝生王国ととりの名前が全国に広まることを期待する。

答 7月に町内事業者などを集めて、返礼品の開発研修会を計画 福本町長

一般質問答弁後の対応

問 国道9号線「浦安駅入口交差点」の危険性について

答 歩車道を分離する道路付属物の設置方法で国土交通省に要請している 福本町長

問 職員の挨拶について町民、関係者など複数から指摘があるが

答 町民の方からお叱りを受けている。仕事に対する意識を持たないといけない 福本町長

問 公共施設の当日利用受付について

答 平日は規則改正し対応準備、土日祝日も当日利用受付を目指して研究している 河原教育長

東伯総合公園サッカー場整備

問 建設のコンセプトは

答 サッカー場の天然芝は上郷公民館など町有施設に移植し再利用 河原教育長





「財政非常事態宣言」の町になるおそれがあるが



財政状況は良いとは言えないが、非常事態ではない 稲田代表監査委員



桑本 始 議員

質疑応答時間 (7回 (質問) 28分 + (答弁) 30分) 58分

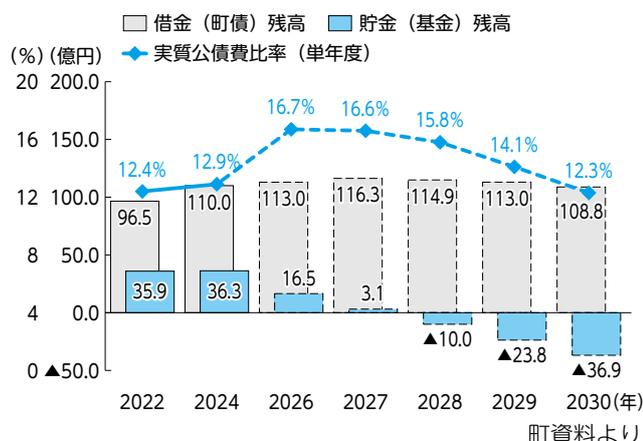


大規模・集中・グローバルから、小規模・分散・ローカルに変えなければ財政は破綻する

問 ①福本町政の3年5ヶ月目にあたり、年々ふくらむ予算に対して「財政非常事態宣言」の町になるおそれがあると感じている。だから私は令和7年度当初予算に反対した。

地方債残高は令和4年の96億5,000万円から、令和9年は116億3,000万円になる。また、実質公債費比率16.6%、経常収支比率は95%くらいになる。基金残高も令和9年は3億円、令和10年には枯渇するが、町長の所見を伺う。

②代表監査委員には今後の中期財政収支見通しについて、中小企業診断士としてどう思われているのか所見を伺う。



答 ①町長就任以来、当初予算額・決算額ともに増額しているが、新型コロナウイルス感染症対応や長年懸案となっていた公共施設の改修に方向性を出し、実施してきた結果である。財政状況については、「実質公債比率」や「将来負担比率」、「経

常収支比率」などの財政指数推移に注視し、「財政非常事態宣言」をしない持続可能な自治体運営を行っていく。

福本町長

②公共施設の更新は財政に余裕があるうちに計画的に進める必要がある。一方、町の予算は年々増加しており、公債費は増加、基金は減少している。

大きな要因は、公共施設の更新費などが重荷であり、今後公共施設の工事・除去等に多くの費用を見積もっており、赤字に転落することが予想されるが、現在は緊急事態的な数字ではない。

稲田代表監査委員

始業前預かりを検討されないか

問 「小一の壁」とは共働き家庭やひとり親家庭において、子どもが小学校に入学した際、保育園に預けていた時には実現できていた仕事と子育ての両立が難しくなることを指す言葉。

一般的に保育園の開所は11時間で、親は午前7時～7時30分に預かりを開始する。しかし小学校は午前7時30分～8時に登校する場合が多い。午前7時より預かる方向で検討されないか。

答 「ファミリーサポートセンター」事業を実施している。

福本町長

答 学校だけの対応には限界があり、地域での取り組みや制度の活用をお願いしたい。

河原教育長

町民の声

敬称略

今、琴浦町は大きな変化の時を迎えています

人口減少の影響で、今までの町の形やサービスを維持できなくなってきています。それが目に見える形で現れ始めているのが今の琴浦町です。

僕が子どもの頃よく遊んでいた中央公民館や、浦安駅もその建物はもうなくなってしまいました。もちろん寂しくはありますが、ある程度正確に予測できる人口動体に基づく議論を尽くした上での結果なので、僕はこれを衰退とは捉えていません。新しい琴浦にフィットした、新しい形。それはこぢんまりとした豆腐のような駅舎かもしれません。でもここに新しい愛着を作っていくのが私たちの仕事なのだと思います。中央公民館の跡地をどうするのか。中央公民館がなくなったから描ける新しい未来がそこに生まれているのでは？ 琴浦の財政は厳しいと聞いているので、更地のまま使える方法もいろいろ検討できると思います。祭りとか、マルシェとか。建物があれば、その建物の機能にあった活用法を、更地であれば、その立地を活かした活用法をどううまく考えるか。工夫とアイデアがこの町の未来を大きく変えていく原動力になるのだと思います。



あかり まさき
明里 正毅
クリエイティブ・ディレクター
HAZZY ALL STARS LLC. 代表



町の未来をデザイン

人の素晴らしさに気付く場所

琴浦へ嫁に来て今年で14年が経ってようやく最近、琴浦町が好きになり始めています。勤にある旧カウベルホールの復活を目指す動きが盛んですが、私自身もその中に関わっていく中で、人の繋がりの温かさや安らぎに触れる機会が増えました。琴浦には、素晴らしい農村環境と海山の新鮮で美味しいもの、珍しくない頻度で顔を見せる虹、美しい星空、など魅力がたくさんあると分かってはいましたが、それ以上に実は魅力があったのは一番は人でした。困っていたら手を必ず差し伸べてくれる地域であることは、この町の財産。誇りに思ってもよいところだと気が付きました。

そこで、旧カウベルホール（現在、愛称カウベルタウン）のことがどうしても頭に浮かびます。これだけの熱のある町の人々が日常的に交流できる場があったらなら、この町はどうなるのだろうと思うのです。音楽ホールはもう使えないらしいのですが、直売所や私設図書館や自習室や27畳の畳の部屋などがすでにカウベルで始まっていることをまだ誰も知らないけど、使わないととにかくもったいない、という思いで活動をしています。ここから幸福度の高い町が始まる予感です。皆さんもぜひ行ってみてください。



まるやま
丸山 ユキ
コトウラ3区代表



カウベルタウン内の私設図書コーナー

あとがき

6月の議会では、東伯総合公園サッカー場改修工事の請負契約の決定や、新ふなのえこども園・成美地区公民館の備品等の取得など、今年度新しく完成する公共施設に関連する議案が多かったです。

新しくできる施設に期待する一方、新設の公共施設だけではなく既存の公共施設も、より町民の皆様にご利用いただけるものとなるよう、議会一丸となって取り組んで参ります。（敦）



議会広報常任委員会

委員長 谷田 順子
副委員長 川本 善孝
委員 山本 秀正
委員 田中 肇
委員 小椋 憲浩
委員 金光 敦

題字 山田 美鈴氏